

〔4〕 船で働く人びと

船や港がわたしたちのくらしにとっても重要な役割やくわりを果たしていることが、わかってもらえたと思いますが、では、船を速く安全に運航するために、どんな人が船に乗っているのか紹介します。

船長 (キャプテン)

船のすべてについての責任者せきにんしゃで、キャプテンとも呼ばれています。

機関士

船はスクリューを回して進みます。そのために自動車の何百倍の馬力のあるエンジンを積んでいます。電気もたくさん使うので、発電機も積んでいます。これらの機械類の運転てんけんや点検・修理しゅうりを受け持っているのが機関士です。航海中は何日も港よに寄らないことがあるので、たいていの修理は船の中でします。

航海士

船を安全に運航させることが大きな役目です。港では、貨物の積み降ろしおの監督かんとくもしています。船が港を出て次の港に着くまで、交代こう替たいで24時間休みなく見張りや操船みはをそうします。

事務長 (チーフパーサー)

クルーズ客船やフェリーには、乗客のお世話をするパーサーと呼ばれる人たちがいます。チーフパーサーは、その責任者です。